

パンタナル通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2025年9月1日 264号

2025年9月1日 264号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



援者の皆様に改めて感謝いたします。川久保さん自身による報告は別途掲載いたします。



水田理事と

家族や知人たちの祈りの中、赤ちゃんが元気に生まれてきました。その後も、母子ともに健康状態は順調。7月21日、無事に退院しました。レダの赤ちゃんは、去る3月13日に滝川哲盤・ジェシカさん家庭に誕生した澄奈ベティちゃんと、今回誕生した龍シオン君の二人となりました。神様

赤ちゃんのへその緒の状態を観た担当医師は、帝王切開を勧めましたが、晋英さんは自然分娩を強く希望し、家族や知人たちの祈りの中、赤ちゃんが元気に生まれてきました。

その後も、母子ともに健康状態は順調。7月21日、無事に退院しました。

出産に先立ち晋英さんのお母さんが日本から駆け付けてくださり、初めて出産を経験する川久保夫妻にどうて、大変強い味方となりました。出産にあたっては、設備の整った首都アスンションの病院を選びました。

晋英(くにえ)さん家庭に初めての赤ちゃんが誕生しました。男の子です。パラグアイ式に、「龍シオン(侍音)」と二つの名で命名されました。



龍シオン君、すやすや。



レダにまた新たな生命！

川久保安史・晋英さん家庭に第一子

政府の水害援助活動にレダが協力

●長い大雨 レダを含む、パラグアイ北部、アルト・パラグアイ県では、通常12月から2月が雨季であるが、今年は3月に入つても大雨が降り続いた。3月半ばからほとんどの公道、私道が冠水し、7月末まで道路が全く使えない状態が続いた。

●国の援助 そうした中、政府は海軍の最も古い軍艦をパラグアイ川で運行することを決定。カルメロ・ペラルタ市からバイアネグラ市までの225kmを往復させ、地域の住民と食糧などの物資を無料で運ぶ水害援助活動を始めた。

海軍は4月初めから4ヶ月間で約2600人の地域住民が移動するのを助けることができたと、7月未に公表した。実際私たちもの期間、ガソリン、軽油、食料品などを運搬してもらい、大いに助けられた。

● **海軍からの要請** このような地域への援助活動が始まる前、海軍の担当者から私たちに連絡があった。それは、飲料水を提供してもらえないかという要請であった。レダ周辺の村々に衛生的な飲料水はなく、軍艦にも限界があつたため、ようしくお願いしますということだった。

● **レダが援助活動に協力** それ以来、週に一度必ず軍艦がレダに立ち寄るようになり、私たちは2トンの水を提供するようになつた。また軍

被災したチャコ地方の人々や物資を無償で運んでくれた
海軍の船。これが最後の運航。8月5日

●海軍からの要請 このような地域への援助活動が始まる前、海軍の担当者から私たちに連絡があった。それは、飲料水を提供してもらえないかという要請であった。レダ周辺の村々に衛生的な飲料水ではなく、軍艦にも限界があつたため、ようしくお願いしますということだった。

●レダが援助活動に協力 それ以来、週に一度必ず軍艦がレダに立ち寄るようになり、私たちは2トンの水を提供するようになつた。また軍艦のスケジュール上、どうしてもレダに停泊せざるを得ないことがあり、婦女子を私達の研修所に三度泊めてレダに来る周辺地域の先住民たちで、綺麗な部屋とベッド、トイレなどを使い、ゆっくり休むことができたと皆大変感謝していた。

●海軍から謝意 4ヶ月にわたる水害援助活動が終わつた後、軍艦の司令官がレダに立ち寄り、彼らの援助活動に私たちが気持ちよく協力したことに対する、心からの感謝を表していた。地域の為そして国家の為に喜んで生きるというレダの真価が発揮された援助活動となつた。



●アクアムンド社からの来訪者たちを歓迎するタベ。レダ大食堂、8月18日



SNAP
神は大空を造り、大空の下と大空の上に水を分け... (創 1:7)



チャパボラの水産体験：
養殖池でパクーの水揚げ。



●7月、8月の誕生日会。おめでとう！ 8月11日



●韓人移民60周年記念祭にて、島田ファミリー。旧国會議事堂前 8月15日



島田兄妹が作った、川久保家への出産祝い。



●浄水場の業務を山崎氏から実地で学ぶチャパボラ。



●体長2m以上の大きいアナコンダがいました。 8月4日



●ディーゼル燃料(軽油)を運んできたタンクローリー。 7月23日



●定期貨客船「ファティマIII(トレス)」から積み荷を下ろす。

レダプロジェクトを支えるために!

橋爪オスカルさんに聞く アラポラ社の奮闘

アラポラ社は、レダプロジェクトの一環として2024年、橋爪オスカルさんが中心となって立ち上げられた、ソーセージ工場を運営するパラグアイの会社法人です。

アラポラ社は、ソーセージの製造・販売事業を通して収益を上げ、レダプロジェクトの最終的な目標である「天一国建設」という大きな夢を経済的に支えていく役割を担っています。

以下、アラポラ社の経営責任者、



アラポラ(Ara Porā)社、在シウダ・デル・エステ。

橋爪オスカルさんによると、2013年にその工場長に就任することを決めました。その後、その工場の責任者だった小橋さんを通じてレダプロジェクトに関わる赤澤さんと知り合い、本格的にレダプロジェクトに関わるようになりました。その後、赤澤さんに誘われて日本で行われるミーティングに参加するようになりました。そこで、私は神様から命の命令ではな



① レダプロジェクトとの出会い

アラポラ社設立までの道のり

③ 現在の事業と課題

事業開始当初、私は日本で成功したレシピを基に、パラグアイ在住のブラジル人向けにソーセー

ジ工場を経営していた坂本さんから、家族全員でブラジルに移住したいので、彼の工場を引き継いだ。

その後、2012年に別のソーセー

ジ工場を経営していた坂本さんから、家族全員でブラジルに移住したいので、彼の工場を引き継いだ。その後、その工場の責任者だった小橋さんを通じてレダプロジェクトに関わる赤澤さんと知り合い、本格的にレダプロジェクトに関わるようになりました。その後、赤澤さんに誘われて日本で行われるミーティングに参加するようになりました。そこで、私は神様から命の命令ではな

いなかつたと



レダで生きるといつーと

時がたつのは早いもので私がレダに来てから、もう3年が過ぎました。今回は3年間のレダでの生活を振り返ってみて思つていることを共有してたく思います。

まず衣食住に関して、着いただきますが、食材は外部調達です。(一部、自給しているものもあります。)

80トンタンクを中心とする修練所エリア(8月7日午前8時頃)

(山崎茂章)
そして思つて、いることですが、現状レダの維持にかかる費用は、ほとんど全て日本等からの支援金で賄っています。水産の事業化が進んでおりますが、まだまだ規模が小さいのが実情です。将来的には色々な事業を興す必要もあると考えます。

といふことで、レダの魅力を生かした素敵な事業を思いついた方、アイデアレベルでも良いので共有していただければ嬉しいです。

1月頃、運転資金の開発に着手しました。そこで2025年1月頃、運転資金格を抑えた新商品の開発に着手しました。

試行錯誤を繰り返し、1か月ほどかけて開発したのが、「ミツシヨネロ」というソーセージです。この商品は、この地域で広く知られている同名のソーセージを参考に、価格を抑えつつ、脂分を多く含む特徴を活かして作りました。結果的に、この新商品が市場に受け入れられ、今はアラポラ社の売上の約98%を占める主力商品となつ

てあります。ミツシヨネロの課題として、ハンバーグの生地としても使えるようなソーセージを開発しています。これは、パラグアイでは初めての試みです。ミツシヨネロと同じ価格帯で、より多くの人に買つてもらえるような商品を作ることが今の目標です。また、売上目標である400万グラムを……

この続きは当会のホームページにお進みください。

外でバーベキューのように炭火で調理する必要があるのです。このため、現在は店内で気軽に試食で、脂分を抑えた新しいソーセージをお読みいただけます。左のQRコードをタップし、264号にお進み

一般社団法人
南北米福地開発協会 事務局

〒182-0021
東京都調布市調布ヶ丘
2-15-1 ビリアベルデ 407
電話: 042-449-0183

支援金振込口座: ゆうちょ銀行
記号10280 番号61349751
一般社団法人 南北米福地開発協会

eメール: office@asd-nsa.com
ホームページ: <https://asd-nsa.com>

パンフレット: 当会の紹介と入会申込書
<https://asd-nsa.com/sk/> (←タップ可)

パンタナル通信
電子版 (Blog)



- 韓国語 [한국어](#)
- スペイン語 [Español](#)
- ポルトガル語 [Português](#)
- 英語 [English](#)
- 日本語 [ほんご](#)



左のQRコードからどうぞ。
ご感想送信、紹介パンフも。

LINE公式アカウント
レダの日常・日本の非日常
レダ現地の様子、プログラム・イベント通知・参加者募集案内などを配信します。



友だち追加は
こちらから!

編集者のひと言
▼龍シオンちゃんは、すでに多くの人々に喜びを与えてくれています。

レダで澄奈ベティちゃん

と一緒に遊ぶ姿が楽し

みです。▼不撓不屈の

橋爪オスカルさん。商

品開発力もすばらしい

ですね。ミツシヨネロー

さんが読者にボールを投

げました。皆様、山崎さ

んに返球してください。



アラポラの社員たちと、社屋の前にて。